

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27009

学校名：二十四軒学校

| 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果 | | 分析 |
|--|--|--|
| 体力・運動能力 <男子> 前回の記録と同程度もしくは上回った種目 ・長座体前屈 前回の記録より下回った種目 ・握力・上体起こし・反復横跳び ・20mシャトルラン・50m走 ・立ち幅跳び・ソフトボール投げ | 体力・運動能力 <女子> 前回の記録と同程度もしくは上回った種目 ・握力・上体起こし・長座体前屈 ・20mシャトルラン・50m走 前回の記録より下回った種目 ・反復横跳び・立ち幅跳び・ソフトボール投げ | ・外遊びがなくなったことや児童の実態により、運動技能が大きく下回った。体育専科の活動や体育委員会との連携を図りながら、体を動かす機会を増やす必要がある。 ・昨年度に比べると多くの項目で下回っているものが多い。「握力」「20mシャトルラン」は全国平均と比べて低い結果になったので、持久力等を高めるための手立てが必要である。 ・体育の授業や休み時間の外遊び、体育館ウィーク等（鉄棒ウィーク、跳び箱ウィーク、マットウィーク）の取組により、運動習慣の定着と技能向上を図ることができた。 ・友達と教え合う良さを実感したり、運動に対しての興味をもてるような手立ては引き続き必要である。 ・今年度、加配された体育専科とも連携を図りながら、運動に対する苦手意識を少しでも軽減していきたい。 |
| 運動・スポーツへの意識、運動習慣 ①「運動やスポーツをすることが好き」②「体育の授業は楽しい」③「友達と助け合ったり、教え合ったりして、できたり、わかったりした」 ①R6 男子:93.5%, 女子:92.3% R7 男子:80.6%, 女子 88.5% ②R6 男子:100%, 女子 88.4% R7 男子:73.7%, 女子 88.5% ③R6 男子:94.4%, 女子:84.6% R7 男子:87.1%, 女子 94.4% | ④「体育の時間を除く1週間の総運動時間が「0分と回答した児童」 ⑤体育授業で、ICTを使って学習することで「できたり、わかったり」したことがある児童の割合 ④R6 男子:0% 女子:0% R7 男子:3.3% 女子:2.9% ⑤R6 男子:67.5% 女子:80% R7 男子:64.6% 女子:51.3% | |

| | | | |
|--------------|------------------------|------------------------------|----------------------------|
| 三つの取組 | ①体育・保健体育等の授業の充実 | ②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組 | ③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組 |
|--------------|------------------------|------------------------------|----------------------------|

| | | | |
|---------------|--|---|--|
| 具体的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・「課題探究的な学習」の推進 ・子どもが運動の楽しさに触れ、共同的な学習の推進 ・ICT（一人一台端末等）を活用した学習活動の充実 ・体育専科による学びの質の向上 ○体育、健康に関する課題を、子ども自ら発見し、目標をもって取り組めるようにする手立てを講じた授業の推進。 ○運動の楽しさに触れられる課題探究的な学習の推進。 ○固定器具を使った運動、器械運動の推奨。 ○安全で安心できる学習環境を整え、互いに認め合う態度を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動の機会の充実を図る環境整備の推進。 ・三間（仲間、時間、空間）の創出により運動機械の充実を図る取組 ○「跳び箱」「マット」「鉄棒」「縄跳び」ウィークの取組により、運動習慣の定着と技能向上を図る。 ○玄関前や中庭などでの縄跳び活動など、体育館以外での体を動かして遊べる場や縄跳びカードの活用など目標の設定。 ○グラウンドでのドッジビーや「大谷グローブ」などを活用することで、楽しく運動できる機会・場を設定する。 ○なわとびカードを作成し、体育の導入の時間になわとびによる体力向上を図る。 ○体育委員会とも連携を図りながら、身体を動かす機会を増やしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各教科等の内容を関連付けた健康教育の推進 ・外部講師の活用など家庭・地域との連携 ○地産地消やフードリサイクルによる食と環境を結び付けた学習の充実。 ○健康的で望ましい食習慣を身に付けるための食に関する指導の充実。 ○保健教育の充実を通して、健康の保持増進に運動が果たす意義についての理解促進を図る取組の充実。 |
|---------------|--|---|--|

| | |
|---------------------|--|
| 家庭・地域との連携・協働 | PTA 主催の「祭りだ!!わっしょい24」にて運動技能を試すアトラクションを設置し、楽しみながら体を動かす機会を設定する。 ・地域学校協働活動推進事業にてスキー教室を実施、指導の充実を図る。 |
|---------------------|--|